



フィールド生物学者兼  
総合大学図書館長の立場から見た  
オープンサイエンスの現状と課題

鹿児島大学附属図書館長 山本智子

2024年7月10日

第71回国立大学図書館協会総会研究集会

# 自己紹介

- 山本智子（やまもとともこ） / 博士（理学）
- 鹿児島大学水産学部教授 / 附属図書館長
- 専門分野：海洋生態学 / 海洋生物学 / 保全生態学

海洋の無脊椎動物を中心に、地域の生物相（種組成）とその成立要因を明らかにする

- キャッチフレーズ：潮間帯（干潮時に歩いて調査）から深海（大型研究船を用いた巨大プロジェクト）まで
- 学会：日本生態学会・日本ベントス学会・日本貝類学会・日本水産工学会  
Ecological Society of America など
- 論文発表媒体：所属学会の学会誌（英文・和文）

海洋生物学を中心とした国際専門誌

学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた大学及び図書館の対応



# 研究者としてのスタンス～論文のOAについて

## ➤論文をオープンアクセスにすることのメリット

- ✓ 新しいタイプの読者（異分野や経済的に恵まれない研究機関の研究者・研究者以外）に読まれる可能性
- ✓ そのことによって研究に新しい展開がうまれるかも
- ✓ 研究成果の社会への活用が進むかも

## ➤「即時」である必要はあるか？

- ✓ 上記のメリットは一定の期間を経てからのグリーンOAで達成可能
- ✓ APCを支払ってまで即時オープンにする意義を感じない。

✓ APCが高すぎる！

自身はAPCを支払ってのOA経験なし

- ✓ OAは論文を読む方の経済格差を解消するかもしれないが、発表する方の経済格差を生じてしまっている。

冊子印刷や編集の経費は減少しているにも関わらず、出版社の利益はいったいどこへ？



# 研究者としてのスタンス～論文のOAについて

## ➤研究分野の特性

- ✓ 高額研究費にあまり縁がない
- ✓ 野外の生物を扱っているため研究計画から発表までにかなり時間がかかる。
- ✓ 論文のオープン化の部分だけ急ぐことにあまり意義を感じない。

## ➤所属分野のOA事情

- ✓ 大手出版社が出す専門誌でも多くはHybrid
- ✓ 一定の期間を経てOA
- ✓ 多くの国内学会では英文誌と和文誌の対応を分け、クローズドアクセスも多い
- ✓ 英文誌は、  
一定期間後J-STAGEに
  - 大規模学会では大手出版社から発行  
多くはHybrid、ゴールドOAへの動きも（APCを学会が援助）
  - 小規模学会では無料で即時オープンからクローズドアクセスまで様々  
グリーンOAには比較的寛容





# 研究者としてのスタンス～オープンデータについて

## ➤ 自身や周辺の研究者が扱っているデータのタイプ

- I. 地域の生物相（平たく言えば特定の場所に生息する生物の種リスト）
- II. 大学の教育施設（臨海実験所・演習林）の長期観測データ
- III. 研究船・練習船による観測データ 船舶運用機関→分野内の研究者間で共有

## ➤ データ共有の状況と意味

以下の様な理由からデータの共有はすでに進められている

- ✓ 大規模な研究（地球規模でおこる現象の解明など）に活用 III 能登半島地震を受けた緊急調査に活用
- ✓ 長期にわたる変化（気候変動の影響など）の検証に利用 II
- ✓ 貴重な計測器（海底地震計など）の設置状況（とデータ）を共有し重複を防ぐ III

## ➤ データの共有に不安を感じる点

データペーパーも活用されているが…

- ✓ 附属施設等が長期観測を行ってきたが、近年そのような業務が軽視されがち
- ✓ 労力に比してデータを出す研究への評価が低くなりがち



# オープンデータの一例～Jalter Since2006

## Jalter（日本長期生態研究ネットワーク）

- 学際的見地による長期，大規模な研究に基づいて**一般的・普遍的な科学的知見**を創出する。
- 公開型データベースを構築し，**科学者や一般市民，政策決定者**に対して，**さまざまな環境問題**や生態学研究の課題を解決するための情報交換や情報共有を促進する。
- 長期的かつ大規模な環境変動，生態系変動に関する教育活動を促進する。
- 長期生態研究者間での協力や協調を促進する。

<http://www.jalter.org/>



### JaLTER データ目録の検索

新規検索

English Skin

利用規約

クレジット

JaLTER ウェブサイト

### データの検索



JaLTER データベースに格納されているデータはすべて公開データ(public data)です。どなたでも自由に検索・閲覧が可能です。

検索語句（たとえば「生物多様性」など）を入力して検索するか、または下記のリンクを使ってカテゴリごとに閲覧してください。

検索を実行する

タイトル、要約、キーワード、人物情報のみを検索する

すべての項目を検索する（時間がかかります）

#### JaLTER サイト

苫小牧，厚岸，北海道北，足寄，カヌマ沢，藤荷田山，霞ヶ浦 袋山，秩父，富士北麓，高山，宍道湖・中海，川渡，瀬戸内西

#### 生態系タイプ

森林，草地，湖，海，川

#### プロジェクト

モニタリングサイト1000，Ecol Res データペーパー

#### 測定項目

気象，水文，水質，フラックス，フェノロジー，バイオマス

学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた大学及び図書館の対応



# 大学図書館として

- 機関リポジトリは大学の研究力を示す指標に→所属する研究者の発信力を強化
  - ✓ 学外から活用しやすい機関リポジトリに
  - ✓ 論文業績とリンクさせて機関リポジトリへの登録を簡便に
  - ✓ 機関リポジトリに関わる図書館の業務も簡素化を
  - ✓ オープンデータにも対応する必要
  - ✓ 「公開したいもの」ではなく「可能なものは原則公開へ」
- 機関リポジトリを活用したオープンデータ
  - ✓ 論文に紐付くデータの公表は研究の質を担保する上でも有効
    - 様々なタイプのデータに対応する必要
  - ✓ 大学で取られたそれ以外のデータはどうか？

公的機関が取ったデータの保管と活用について、より大きな単位で議論すべき



# 鹿児島大学におけるオープンサイエンス事情

- 機関リポジトリ運用方針 2007年
- 機関リポジトリに関する要項 2011年
- 研究データ管理・公開ポリシー 2023年
- 機関リポジトリに関する要項 改訂予定
- 全学オープンサイエンス推進委員会発足
  - ✓ OAポリシーの策定
  - ✓ 学内研究者への広報・啓発

APC機関補助

電子ジャーナル転換契約

データも含める

多彩な学問分野

即時性を重視する分野を優先すれば良い？ ← • OAやオープン of 即時性に対する要請  
大容量・芸術系なども担保可能？ ← • データのタイプ  
の分野間での違いにどう対応する？

